

第七十五回帝國議會
衆議院

會計検査院法中改正法律案委員會會議錄(速記)第八回

會議

昭和十五年三月十五日(金曜日)午後一時二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 古屋 慶隆君

理事則元 卯太郎君 理事木原 七郎君

理事金澤 正雄君

福田 關次郎君

星 一君

菊地 養之輔君

出席政府委員左ノ如シ

內閣恩給局長 平木 弘君

內閣統計局長 川島 孝彦君

司法政務次官 星島 二郎君

司法省民事局長 坂野 千里君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

會計検査院法中改正法律案(政府提出)

委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

裁判所構成法中改正法律案(政府提出)

恩給法中改正法律案(政府提出)

○古屋委員長 是ヨリ開會致シマス——長

井君

○長井委員 私ハ恩給ノコトニ付テハ一向

詳シクナイノデアリマスガ、恩給亡國ト云フ言葉ガ時々出ルノデアツテ、此ノ儘デ行

クト國家ノ財政ガ、恩給ノ爲ニ大變ナ影響ヲ受ケルノデハナイカト云フヤウナ趣旨

ニ聞エテ居ルノデアリマスガ、併シ私ハ恩給ヲヤルコトガ善イノ惡イノト云フノデハア

リマセスガ、恩給ノ制度ノヤリ方ニ依ツテハ、亡國ト云フヤウナコトモナク行ケル

デハナイカ、斯ウ云フ風ニモ考ヘラレノ

デス、第一ニ私ハ恩給デ一番困ツタモノハ、若イ時ニ職ヲ辭メテ恩給ヲ取ル、是ガ恩給

トシテ一番困ツタモノデナイカト思ツテ居

ルノデアリマス、例ヘバ警察官デアルトカ、或ハ小學校アタリノ先生デアルトカ、斯ウ

云フ人々ハ此ノ頃ハ恩給年限ガ多少延バサ

レハ致シマシタケレドモ、例ヘバ巡查ノヤ

ウナモノデアリマス、若クテ任官ヲ致シ

マシテマダ働キ盛リニ辭メテ恩給ヲ取ツテ、他ノ良イ職業ニ轉ズルト云フヤウナ傾向モ、

今日マデハ度々アツタ譯デアリマス、サウ

シマスト一年ノ額ハ僅カノヤウデアリマス

ケレドモ、ソレヲ一生支給スルト云フコト

ニナリマスカラ、是ガ縦ニモ横ニモ積ツテ、

恩給ノ額ガ非常ニ多クナルノデハナイカ、

斯ウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、是等ノ點

ニ付テノ當局ノ考ハ如何デゴザイマセウカ、

私ハ一旦警察官トシテ奉職ヲシタ限リハ、或ハ又小學校ノ教育者トシテ職ヲ奉ジタ限

リハ、所謂終身御奉公ヲスベキモノデア

ル、ソレヲ良イ仕事ガアツタナラバ他ニ變ラウ、或ハ恩給ヲ取ツテ多少ノ生活ノ基礎ヲ得テ

置イテ、サウシテ他ニ變ラウナドト云フコ

トハ、是ハ終身御奉公申上ゲルト云フヤウ

ナ最初ノ出發カラ申シマシテ、甚ダ面白ク

ナイコトデア

ル、サウ云フコトデアリマス

ト、其ノ間ニ本當ニ仕事ニ身ガ入ラナイト

云フヤウナコトモアリマシテ、是ガ偶、恩

給制度ガアルト云フコトノ爲ニ却テ恩給ヲ

取ツタラ辭メヨウ、斯ウ云フ風ナコトニナ

ツテ來ル傾向モナイトハ申サレナイノデア

リマス、東京市內ニ於キマシテモ乃至地方

ニ於キマシテモ、先ヅ警察官ガ五十歳ニナ

リマス、モウ何處ノ署長モ辭メナケレバ

ナラヌト申シテ居リマス、警察署ノ署長ノ

如キハ、想像致シテ見マシテモ、五十歳以

上ニナリマシテカラ本當ニ良イ警察事務ガ

出來ル譯デアリマス、謂ハバ其ノ地方ノ小

父サント云フヤウナ感じヲ持タレ、オ父サ

ント云フヤウナ感じヲ持タレ、オ父サ

テ、初メテ警察官ト云フモノノ警察權ノ行

使ガ旨ク行クノデアリマス、ソレヲ親不孝

ノ意見スル資格モナイヤウナ、若イ警察官

バカリニナリマシテハ、事務的ナコトハ、ソレデ宜イカモ知レマセスガ、本當ノ警察

行政ト云フモノハ旨ク行クモノデハナイ、斯

ウ云フ趣旨カラモ、一生御奉公ヲ遂ゲサセ

ル、サウシテ本當ニ御役ニ立タナクナツタ

時ニ辭メサセル、其ノ時ニハ相當多額ノ恩

給ヲヤリマシテ、老後モ養ヘマスシ、子孫

ノ爲ニモ生活ノコトヲ心配シナイデモ宜イ、

斯ウ云フ風ニシテ、ドウシテモ一生御奉公

申上ゲルト云フ趣旨ヲ貫徹セシメナクテハ

イケナイト思フノデアリマス、警察官ニナ

リマス、或ハ司法ノ警察官ナドニ携ハリ

相當若イ者ノ力ガ要リマスケレドモ、ソレ

ハ補充サレタ若イ者デ來ルト思フ、何時

モ一生御奉公申上ゲルト云フ氣持ヲ持タセ

テ行カネバナラス、サウ云フコトニナリマ

ス、結局恩給ト云フモノモ本當ノ意義ヲ

發揮シ、是ガ亡國のナ縱横ニ數ノ上ツテ來

ルト云フコトモ、非常ニ減ルノデハナイカ

ト考ヘテ居ルノデアリマス、小學校ノ先生

ノ如キモサウデアリマシテ、現今デハ多少

人ガ足りナクナツタ關係カラ、詰腹ヲ餘リ

切ラセナクナリマシタケレドモ、一時ナド

ハ、大體小學校ノ校長モ五十歳ニナルト、

付託議案

會計検査院法中改正法律案(政府提出)(第六八號)
委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)(第五八號)
大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)(第六一號)
裁判所構成法中改正法律案(政府提出)(第七八號)
恩給法中改正法律案(政府提出)(第八一號)

モウソロ、首ガ涼シクナル、私ハ本當ノ小學校ノ教育者トシテ良イ教育ノ出來ルノハ、ヤハリ五十歳過ギテガラ、頭ニ霜ヲ戴イテ來テ、自分ノ子供モ教育シテ、其ノ經驗ヲモ加ヘテ、サウシテ教育ノ仕事ニ携ハルト云フコトデ、本當ノ教育ガ出來ル、斯ウ云フ風ニ當々見テ居ルノデアリマス、是ト丁度恩給トハ關聯ヲ持ツテ居リマス、サウ云フ風ニシマシタナラバ、官吏ノ本當ノ味ヒノアル實績、或ハ教育ノ味ヒアル實績ガ舉リマスシ、又恩給ノ額モ非常ニ大キナ率ヲ以テ膨脹シナイデ濟ムノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマスガ、此ノ點ハドンナモノデゴザイマスカ

○平木政府委員 恩給ノ増加ノ問題デアリマスルガ、只今御述ニナリマシタヤウニ、數年前マデハ恩給ガ毎年相當増額スルモノデスカラ、恩給亡國論ト云フモノモ相當唱ヘラレテ居ツタノデアリマス、又サウ云フ見方モ正シイノデアリマスルガ、最近豫算ガ非常ニ増加致シマシテ、恩給モ増加致シマスルケレドモ、豫算全般ノ割合カラ言フト、恩給ノ割合ト云フモノハ前ヨリ割合合少クナツタト云フ風ナコトモアリマセウカラ、前程其ノ論ヲ聞カナイヤウニナツタノデアリマス、併シナガラ恩給局ノ吾々當局ト致シマシテハ、サウ云フ論ガアルナシニ拘ラズ、出來ルダケ恩給ニ依ル國庫ノ負擔ヲ輕クスルト云フコトハ、常ニ考ヘナクテハイカス問題ダト考ヘテ居ルノデアリマス、サウシマスル一方、今度ハ受給者カラ致シマスルト、最近ノ物價高其ノ他ニ依リマシテ、殊ニ下級ノ者、恩給額ノ少イ者ハ、相當生活ニ困ツテ居ル者モ多イ實情ニアリマシテ、是等ノ者モ何トカシナケレバイカヌ

ト云フ風ナ實情ニ現在アルノデアリマス、サウ云フ風ナ二ツノ要求ガアリマシテ、之ヲ如何ナル所デアルカト云フコトハ、非常ニ難カシイ問題デアリマスルガ、今度改正致シマシタノモ大體其ノ考カラ致シタノデアリマシテ、只今御述ニナリマシタヤウナ若年者ノ恩給ノ一部停止、或ル程度停止ノ額ヲ多クスル、又多額所得者ノ方モ、或ル程度停止額ヲ多クシテ貰フコト云フコトニ、今度改正致シタ譯デアリマス、更ニ廻ツテ、若イ者ガ恩給ヲ貰ツテ直グ退職シナイヤウナ制度ニシタナラバ、更ニ一層效果ガアルノデハナイカ、モツト徹底シタコトニナリハセスカト云フ御意見デゴザイマシテ、ソレハ一應御尤モナ御意見デゴザイマスルガ、唯此ノ問題ニナリマスルト、是非非常ニ大キナ問題ニ關係シテ來ルノデハナイカト思フノデアリマス、例ヘバ英吉利ノコトハ能ク存ジマセヌガ、英吉利アタリデアリマス、六十歳ニナツテ初メテ恩給ヲヤルヤウニシテ、六十歳マデハ恩給ヲヤラナイ、之ヲ反面カラ申シマスルト、大體惡イコトガナケレバ六十歳マデハ皆役所ニ使ツテヤル、斯ウ云フ風ナ制度ニナツテ居リマスカラ、六十歳デ辭メタ者ニ恩給ヲヤルト云フコトニナツテ居ルヤウナ狀況デアリマスルガ、之ヲソレデハ日本ト比較シテ見ルト、ドウカト云フコトニナリマス、ドウモ日本ト英吉利トハ根本的ニ國情ガ違フノデハナイカト、私ハ考ヘテ居リマス、色々違フ點ガアリマスガ、其ノ中デ一番大キナ違フ點ハ、日本ハ何ト申シマシテモ毎年人口ノ増加ガ非常ニ多イ、英吉利ハ御承知ノ通り人口ノ増加ガ餘リアリマセヌ、サウ云フ狀況デアリマスカラ、古い人ガイウマデモ仕事

ニ止ツテ居レル、日本ハ此ノ頃少シ狀況ガ違ツテ來マシタガ、今マデハ、ドウモ人口ノ割合ニ仕事ガ少イ、職業ガ少イ、隨テ若イ者ヲ遊バセテ置ク譯ニ行キマセヌカラ、自然老人ト申シマス、餘リ老人デナクテモ辭メナケレバイケナイヤウナ、人口のナ問題ガ大キナ問題ニナツテ居ルノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマシテ、日本ノ方モ此ノ頃ハサウモ行カナクナツテ多少違ツテ來マシタガ、大局カラ見マス、ソレガ相當大キナ原因デハナカラウカ、サウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス、唯ソレハ大局カラ見タダケデアリマシテ、個人的ニ見マシタナラバ、或ハ恩給ヲ貰フ爲ニ役人ヲシテ居ツテ、恩給ガ付イタラ辭メルノダト云フ、是ハ無イ譯デハナイト云フコトモ想像シマス、或ハ其ノ他ノ理由ニ依リマシテ、若クテ辭メル人ガナイトモ限リマセヌガ、若シサウ云フコトガアルトスレバ、是ハ官吏ノ任免ノ問題トシテ、私カラ一寸答辯ヲ致シ兼ネマスガ、政府トシテモ考ヘナク、デハイカス問題ダト思ヒマスガ、其ノ根本ニ遡リマス、サウ云フ大キナ問題ニ打ツカツテ來ルノデハナイカ、唯此ノ頃ハ多少其ノ事情ガ違ツテ居リマスカラ、今後ノ情勢ノ變化ヲ見マシテ此ノ問題ハ又考ヘナクテハイカス問題デハナカラウカ、隨ヒマシテ今年ハサウ云フ問題ニ觸レマセズニ停止ノ率ヲ殖ス、若イ者ガ恩給依存ノ念ヲ持ツノハ宜クナイト云フ意味デ、停止ノ率ヲ殖ヤス、斯ウ云フ風ニシタ譯デアリマス

○長井委員 英吉利ノコトハ知リマセヌガ、是ハヤハリ大變宜イヤウニ思フノデス、日本ハ今マデ、人口ガ餘ツテ居ツタノデスカラ、年寄ガ何時マデモ年ヲ取ツテモ働イテ居ツタノデハ、先ガ問ヘテ來ルノデ罷メサセルト云フ傾向ニナリマシタコトハ、是ハ寧ロ困ツタ現象デアアル、幸ニシテ愈、大陸ヘ向ツテ出テ行クヤウニナリマシタカラ、今後ニ於キマシテハ、英吉利ヲ其ノ儘眞似ル譯デアリマセヌケレドモ、一生御奉公申上ゲテ行クト云フヤウナコトニ依ツテ、恩給ト云フモノノ總額ヲ減ラスコトガ出來ルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ只今局長カラ御話ガアリマシタカラ氣ガ付イタノデゴザイマスガ、一般ノ豫算ガ非常ニ多クナツテ、恩給ノ歩合ガ非常ニ小サクナツテ來マシタケレドモ、ソレハ幾ラ小サクナツテモ宜イ、併シ恩給ヲ遣ラナイデ、宜イト云フ趣旨ニ於テハナク、今私ガ申上ゲマシタヤウナ趣旨ニ於テ、成ベクサウ云フコトニナツタナラバ宜イト考ヘル次第デアリマス

次ニモウ一ツ伺ツテ置キマスガ、只今一寸御話ガアツタコトデスカレドモ、此ノ恩給ト云フ現在ノ制度デ行キマスカドウカハ、是ハ別問題トシテ、公吏議員ナドニ對シマシテ、永年勤続ヲシタ者ニ何等ノ物質的ナ恩惠のナモノハナイ譯デアリマシテ、是ハ官吏デアアルガ故ニシテ恩給ガアツテ、官吏デナイ爲ニ何年勤メテモ恩給ガナカツタリスルト云フコトハ、如何ニモ社會全體カラ眺メテ多少公正ヲ缺イテ居ルヤウニ見エルトデス、先程モ御話ガアリマシタガ、中央ノ議員モ勿論デアリマスケレドモ、地方議員ナドデモ長イ間府縣、市町村ノ爲ニ勤メテ、ソレガ爲ニ產ヲ傾ケ、自分ノ老後ヤ子孫ガ困ツテ居ルノハ、是ハ枚舉ニ追フナイ程アル譯デ、何レモ身ヲ棄テテ公ノ爲

ニ盡シテ來タ功績ノアル人達デアリマス、是等ニ付テハ難シイ問題カモ知レマセヌガ、何トカ良イ方法ハナイモノデゴザイマセウカ、各國ノ例ナドモゴザイマセウシ、他ニ例ガナクトモ拵ヘテモ宜イ譯デアリマスガ、サウ云フコトニ付テ恩給局アタリデハ御考ヘニナツタコトハゴザイマセヌデセウカ

○平木政府委員 其ノ問題ハ市町村ノ吏員ト、議員其ノ他ノ方ト分ケテ考ヘナクデハイカヌト思フデスガ、勿論大キイ市ナドデハ、吏員ニ對シテ恩給法トハ關係アリマセヌケレドモ、大體是ト似通ツタ制度ヲ設ケテ居ル譯デアリマス、小サイ町村ナドデハサウ云フ制度ガナイノデ、待遇ガ非常ニ惡イト云フ意味デ、色々内務省アタリデ考究サレテ居ルヤウニ伺ツテ居リマス、是ハ私ノ方ノ主管デハナイモノデスカラ詳シイコトハ申上ゲ兼ねマスガ、色々研究ニナツテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、ソレカラ市町村會議員其ノ他ノ議員ノ方ニナリマス、是ハ違フノデアリマシテ、例ヘバ官吏ト議員トハ一寸性質ガ違フノデス、ト申シマスノハ、御承知ノ通り官吏ハ他ニ收入ヲ得ル途ヲ全部塞イデ、一意専心公務ニ服スルト云フ建前ニナツテ居リマス關係上、サウ云フ者ノ老後ヲ保證スルト云フ建前デ出來テ居リマスノデ、吏員其ノ他ノ方トハ多少其ノ點ガ違フノデハナイカ、私ガ斯ウ申上ゲマス、自分ダケ取ツテ他ノ方ハ少シモ構ハナイヤウニ御考ヘニナルカモ知レマセヌガ、ドウモ現在ノ恩給法其ノ他ノ考ヘ方カラ行キマス、サウ云フヤウナ差別ヲ設ケテ居リマス、恩給法ノ關係ハサウ云フ譯デス、唯恩給法以外ノコトデ何カ方法ガアル

カドウカト云フコトニナリマス、是ハ私一寸其處マデ調ベテ居リマセヌシ、又所管デハゴザイマセヌカラ、何トモ申上ゲ兼ねマス

○金澤委員 恩給法ノ方デスガ、先程一寸申上ゲマシタガ、今度ノ改正ニ依リマシテ一體ドウ云フ計算ニナルノカ、増加スル分モアリマスシ減ズルモノモアリマスガ、改正シナカツタ場合ト今度此ノ案ガ通ツタ場合トノ大凡ノ計算ヲ知リタイト思ヒマス、是ハハツキリシタコトデナクトモ宜シウゴザイマスガ、大體改正ノ項目別ニ伺ヒタイト思ヒマス、此ノ次ノ會マデニ作ツテ置イテ戴キタイト思ヒマス、大體ノ數字デ結構デゴザイマス

○古屋委員長 速記ノ都合ガアルサウデアリマスカラ、本日ハ是デ散會致シマスガ、實ハ今日討論ニ入ル所デシタケレドモ、色々ノ都合上討論ハ次會ニスルコトニ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後一時五十分散會

昭和十五年三月十五日印刷

昭和十五年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局